

## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月12日

上場会社名 株式会社 誠建設工業  
 コード番号 8995 URL <http://www.makoto-gr.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 072-234-8410

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	1,918	△0.3	79	143.7	91	105.0	62	106.7
2020年3月期第3四半期	1,924	△12.1	32	△69.7	44	△65.0	30	△65.2

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 72百万円 (105.2%) 2020年3月期第3四半期 35百万円 (△37.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	31.18	—
2020年3月期第3四半期	15.09	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	5,706	3,443	60.4	1,711.86
2020年3月期	4,655	3,422	73.5	1,701.00

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 3,443百万円 2020年3月期 3,422百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2021年3月期	—	0.00	—		
2021年3月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,800	0.8	160	74.5	170	62.1	110	426.7	54.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	2,012,000 株	2020年3月期	2,012,000 株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	179 株	2020年3月期	179 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	2,011,821 株	2020年3月期3Q	2,011,830 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的とした緊急事態宣言下、一時、経済活動が抑制され、企業収益や個人消費が減速いたしました。その後、緊急事態宣言解除を経て徐々に持ち直しの動きも見られましたが、感染症の再拡大により再び予断を許さない厳しい状況にあり、今後の国内外の感染症の動向から先行きは不透明な状況となっております。

当社グループの属する不動産業界におきましても、新型コロナウイルス感染症拡大や各地で起きている集中豪雨被害から消費マインドの低下が懸念され、厳しい状況が続いております。

このような環境下、当社グループは「より良い家をより安く提供する」という経営理念の基に地域に密着し、高品質低価格な建売住宅を主幹事業として事業展開を図ってまいりました。

当社グループの当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年12月31日)の経営成績は、耐震・制震などの付加価値化に注力し、販売促進を行いました。売上高は1,918百万円(前年同期比0.3%減)となりました。利益に関しましては、営業利益79百万円(前年同期比143.7%増)、経常利益91百万円(前年同期比105.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は62百万円(前年同期比106.7%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は5,706百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,050百万円増加いたしました。

流動資産は4,646百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,039百万円増加いたしました。これは、現金及び預金が194百万円、受取手形・完成工事未収入金が240百万円、たな卸資産が637百万円増加したことなどによります。

固定資産は1,059百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円増加いたしました。これは、建物及び構築物が6百万円減少し、投資有価証券が19百万円増加したことなどによります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は2,262百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,028百万円増加いたしました。

流動負債は991百万円となり、前連結会計年度末に比べ196百万円増加いたしました。これは、短期借入金が169百万円、1年内返済予定の長期借入金が27百万円増加し、支払手形・工事未払金が36百万円減少したことなどによります。

固定負債は1,270百万円となり、前連結会計年度末に比べ832百万円増加いたしました。これは、長期借入金が824百万円増加したことなどによります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は3,443百万円となり、前連結会計年度末に比べ21百万円増加いたしました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益62百万円の計上、その他有価証券評価差額金が9百万円増加、配当金の支払額50百万円によります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における今後の業績予想につきましては、2020年12月15日に公表した数値を修正しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,452,552	1,646,968
受取手形・完成工事未収入金	234,901	475,075
販売用不動産	360,017	210,128
仕掛販売用不動産	1,263,331	2,042,016
未成工事支出金	192,809	201,294
その他	103,169	71,017
流動資産合計	3,606,781	4,646,500
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	81,068	74,883
土地	640,990	640,990
その他(純額)	4,884	3,382
有形固定資産合計	726,943	719,257
無形固定資産		
ソフトウェア	483	333
のれん	2,530	2,151
電話加入権	127	127
無形固定資産合計	3,141	2,611
投資その他の資産		
投資有価証券	275,705	294,988
繰延税金資産	9,268	8,538
その他	33,587	34,324
投資その他の資産合計	318,561	337,851
固定資産合計	1,048,646	1,059,720
資産合計	4,655,428	5,706,220
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金	204,955	168,313
短期借入金	252,000	421,200
1年内返済予定の長期借入金	291,704	318,861
未払法人税等	7,034	25,125
賞与引当金	4,708	1,086
完成工事補償引当金	1,448	1,582
その他	33,293	55,798
流動負債合計	795,144	991,967
固定負債		
長期借入金	438,168	1,262,746
繰延税金負債	—	7,549
固定負債合計	438,168	1,270,295
負債合計	1,233,312	2,262,263

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	578,800	578,800
資本剰余金	317,760	317,760
利益剰余金	2,477,642	2,490,072
自己株式	△119	△119
株主資本合計	3,374,082	3,386,512
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,033	57,445
その他の包括利益累計額合計	48,033	57,445
純資産合計	3,422,116	3,443,957
負債純資産合計	4,655,428	5,706,220

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	1,924,533	1,918,794
売上原価	1,642,937	1,599,263
売上総利益	281,595	319,531
販売費及び一般管理費		
役員報酬	41,929	40,724
給料及び手当	53,280	55,252
賞与引当金繰入額	565	593
法定福利費	14,466	14,655
販売手数料	17,314	14,059
広告宣伝費	21,426	17,133
租税公課	29,435	31,212
支払手数料	40,337	37,102
減価償却費	4,368	3,822
のれん償却額	379	379
その他	25,409	24,948
販売費及び一般管理費合計	248,913	239,884
営業利益	32,682	79,646
営業外収益		
受取利息	28	34
受取配当金	7,316	6,344
貸倒引当金戻入額	3,161	—
助成金収入	—	6,000
雑収入	3,612	4,462
営業外収益合計	14,119	16,840
営業外費用		
支払利息	2,191	5,044
営業外費用合計	2,191	5,044
経常利益	44,609	91,442
税金等調整前四半期純利益	44,609	91,442
法人税、住民税及び事業税	16,445	30,299
法人税等調整額	△2,186	△1,582
法人税等合計	14,259	28,717
四半期純利益	30,350	62,724
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	30,350	62,724

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	30,350	62,724
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,806	9,412
その他の包括利益合計	4,806	9,412
四半期包括利益	35,156	72,137
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	35,156	72,137
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(表示方法の変更)

従来、不動産賃貸収入及び不動産賃貸費用については「営業外収益」及び「営業外費用」に計上しておりましたが、第1四半期連結会計期間より「売上高」及び「売上原価」に計上する方法に変更いたしました。

これは、当社グループでは、不動産賃貸事業を主要な事業の一つとして位置づけ、事業運営の実態をより適切に表示するために表示方法の変更を行ったものであります。

この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において「営業外収益」の「受取賃貸料」に表示していた20,336千円は「売上高」に、「営業外費用」の「減価償却費」に表示していた7,355千円及び「雑支出」に表示していた3,166千円は「売上原価」に組替えております。

(新型コロナウイルス感染症に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)「新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り」に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。